

1 ガイドラインの目的と役割

屋外広告物ガイドラインの目的

屋外広告物は身近な情報手段として広く親しまれています。また地域経済の活性化と街の賑わいを演出するための大切な役割も担っています。近年、幹線道路の開通や大型店舗の増加など屋外広告物を取り巻く社会情勢の変化により、景観への配慮が必要な広告物が多く見られるようになりました。

長野市では、郷土の優れた景観の保全・育成を図るため、平成18年4月1日に「屋外広告物条例」の全部改正を行なってきました。長野市は、長野駅前の賑わいのある中心市街地、また善光寺や松代・戸隠に象徴される歴史や伝統が息づく都市であり、どこからでも美しい山並みを背景に持つことが出来る自然環境に優れた地域であります。この長野らしい景観に調和した街並みづくりを創造していくためには、条例・規制では抑制が難しい大きさ、色、素材によって景観を大きく左右する屋外広告物のあり方を示していくことが必要となります。

そこで、屋外広告物による広告景観を考えるためのガイドラインを策定しました。このガイドラインは、地域の景観的特性を理解し、景観に対する意識の向上と、屋外広告物条例を守り、より良い街づくりの基となることを目的としています。長野らしい景観がより美しく映えるよう、市民はもとより、広告主・広告に関係する皆様にこのガイドラインを活用していただきたいと思えます。

屋外広告物ガイドラインの役割

● 広告景観のよりきめ細やかな誘導を図る

屋外広告物条例による規制では、大きさや高さなど突出した広告物を抑制することは可能です。しかしながら、周辺景観と調和し、長野らしい良好な景観形成を目指すには不十分です。そこで、本ガイドラインは、特別地区とともによりきめ細やかな誘導を図るために役立てます。

● 望ましい屋外広告物のあり方を示す

広告が設置される土地の所有者や広告主、屋外広告事業者など市民や関係者に対して、屋外広告物条例による規制が難しい素材や色など、望ましい屋外広告物のあり方を示すことにより、長野市の豊かな自然景観や歴史的・文化的景観、山村景観、沿道景観を保全、育成していきます。

● 地域の特性を考慮し、相互理解・協力を得た広告景観を目指す

ガイドラインは、それぞれの地域の特性を考慮し、各地域の景観特性に応じた統一性のある広告景観の形成を目指します。また、将来的な特別地区の指定も視野に入れ、住民や行政、関係機関どうしの意識の統一、理解、協力、連携などを行うためにもこのガイドラインを役立てます。さらに、屋外広告物条例を守り、違反広告物に対する誘導にも役立てます。